


事業番号	05 03 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分） □当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	医師確保対策事業	部局	健康福祉部	課・室	医師・看護人材確保対策課
		実施期間	S47 ~	E-mail	ishikango@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	健康寿命				
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実		3-1 信州と関わりを持つ「つながり人口」の拡大		
	5-4 若者のライフデザインの希望実現				

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【現状】 平成30年末現在の本県の医療施設従事医師数は、人口10万人当たり233.1人となっており、全国平均の246.7人を13.6人下回っている。 【目指す姿】 ○身近な地域で安心して医療を受けられるようにするために、医療機関に勤務する医師の絶対数の確保とともに、地域・診療科間における偏在解消を進める。 ○地方回帰の流れを捉え、即戦力医師の確保を図るとともに、医師の育成支援を進める。 成果目標：人口10万人当たり医療施設従事医師数 233.1人 (H30) ⇒ 243.2人 (R3) 【これまでの取組】 他県で活躍する医師への働きかけ、医学生等への資金の貸与、研修医向け説明会への参加 など	
	令和2年度 点検結果 (令和元年度 実施事業分) ・ 現状分析	課 題 ・ 地方への移住を希望する大都市圏在住医師へのPR ・ 修学資金貸与医師の適正配置 ・ 医師が働きやすい環境の整備 ・ 幅広い医療（新型コロナ対応を含む）を提供できる人材の不足

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・ 主な取組(予定)	✓ 地方回帰の流れを捉えた医師等の確保（拡充） ・ ドクターバンク（無料職業紹介事業） ・ 大都市圏での医療従事者移住相談会 等	説明会(東京) 
	✓ 医学生等への資金の貸与 ・ 将来県内の医療機関の医師として勤務しようとする医学生等に資金を貸与	
	✓ 研修医向け合同説明会（一部オンライン）への参加 ・ 地域医療を担う研修医を確保するための県内病院と医学生のマッチング機会の創出	
	✓ 医療機関のチーム医療やICT等による勤務環境改善を支援（拡充） ・ 医療スタッフの協働・連携によるチーム医療、ICT化の推進等による業務改善に係る経費を支援	
	✓ 総合的な医療を行う医師等の養成・確保 ・ 総合診療専門医を取得し将来県内で勤務する医師に資金を貸与（新規） ・ 県外から移住する呼吸器内科の医師に資金を貸与（新規）	

指標の状況及び目標値 [△:改善、▽:悪化、→:変化なし]					事業 コスト	区分(単位:千円)			
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末 (見込)		R3年度 目標値	R1年度	R2年度	R3年度
1	人口10万人当たり医師数	233.1人 (H30末)	(未公表)	(未公表)	243.2人 (R3末)	予算 額	前年度繰越		
2							当初予算	687,760	698,194
3							補正予算		91,200
4							合計(A)	687,760	789,394
5							うち一般財源	492,057	486,789
						決算額(B)	625,199		
						職員数(人)	9.8	10.3	10.8

成果指標
 設定理由
 医師確保の状況全体を把握する指標として、医療機関で県民に医療を提供する医師の人口(10万人)当たり医師数を成果指標に設定(しあわせ信州創造プラン2.0目標値) (出所:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」)
 ※目標値:第7次保健医療計画における目標値達成のために令和3年度に必要な値

予算要求からの 主な変更点	・ 地域医療勤務環境改善体制整備事業について、執行見込みを精査し減額 ・ 新型コロナウイルス感染症対応に係る特殊勤務手当支援事業について、支援対象、期間等の事業内容を見直し、減額
------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------